



大阪研ニュース

No.8



2023年8月3日
大阪研実行委員会



第54回大阪学童保育研究集会が終わって1カ月余り。あっという間に夏休みになり、連日続く猛暑ならぬ酷暑。それでも子ども達は元気に学童に通い、1日ゆっくりと学童生活を満喫している事でしょう。保護者の皆様は連日のお弁当作り、本当にお疲れ様です。

さて、昨年の11月から発行してきた第54回大阪研ニュースも今回が最後の発行となります。最後のニュースは、大阪研実行委員の実行委員長の松谷さんと、事務局長の撫養さんからの挨拶を載せさせていただきます。

6月25日(日)第54回大阪学童保育研究集会が開催され、537名の参加がありました。実行委員会をはじめ、地域の皆さまのあたたかく、心強いお力添えのおかげで無事に終えることができました。ありがとうございました。

参加者アンケートでは多くの方から感想をいただき、中にはA4用紙いっぱいにも熱いメッセージを書いてくれた方もいました。日々学童保育に関わる人々がこうして集い、学び、共感し、何かにチャレンジするキッカケになったり、迷いを確信に変えたり、色々な気づきがあるのが研究集会の醍醐味だと改めて感じました。

zoomも便利なツールとしてすっかり馴染んできましたが、来年はぜひ現地で開催したいですね!また来年、お会いしましょう!

実行委員長 松谷有紀(堺学童保育連絡協議会会長)

第54回大阪研はみなさんにとってどんな一日になりましたか？
大阪研に事務局として携わってから3年になります。コロナ禍によって、この3年間で大阪研はそのカタチを変えてきました。だけど、みなさんの「子どもを真ん中に」、「学童保育をよくしたい」、「子どもたちに幸せでいてほしい」という想いは変わらず受け継がれていると今回、あらためて感じました。

事務局長として活動するなかで、気持ちがあしんどくなる時期もありましたが、みなさんの声を聞くたびに元気をもらっていました。

子どもの笑顔のためにはおとなの笑顔は欠かせません。これからも笑顔になれたり、ホッとできたりする場であるように、みなさんと一緒に大阪研をつくっていきたいと思います。たくさんのお力添えをありがとうございました!

事務局長 撫養久代(岸和田学童保育連絡会会長)

今回の大阪研は、昨年に引き続き会場とZoomを併用しての開催でした。おかげで大阪以外の地域の方の参加もあり、改めて大阪研が広く認知されているんだな。と感じました。また、前回に引き続きニュースを担当させてもらい、このニュースをどんな人たちが読んでいて、どんなことに興味を持ってくれているんだろう?と試行錯誤ながらの作成でした。駄文にお付き合いいただき本当にありがとうございました。

来年度は第55回!大阪研が始まって55回目。記念の回です。松谷さんも書かれていましたが、会場開催でみなさんにあえることを楽しみにしています!

ニュース担当 指導員 T.K